

福島生協病院

福島生協訪問リハビリテーション



草津・介護事業
訪問看護ステーション草津かもめ
定期巡回・随時対応型
訪問介護看護生協くさつ24

福島・介護事業
中央居宅介護支援事業所
広島中央保健生協
ヘルパーステーション
訪問看護ステーション
生協コスモス

生協小児科
ひろしま

ひまわり
保育園

生協歯科
ひろしま

生協さえき歯科

広島中央保健生活協同組合の

NETWORK

コープ
草津診療所

訪問看護ステーション
コープはつかいち

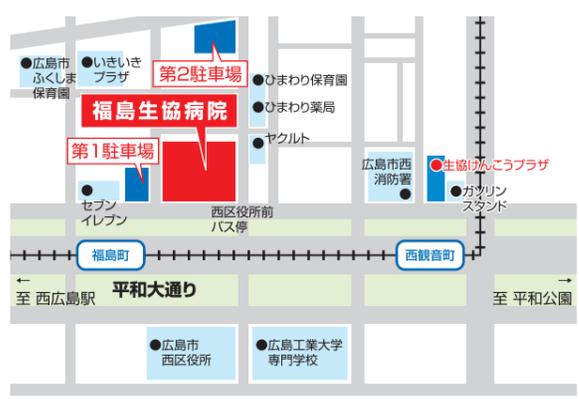
五日市・介護事業
訪問看護ステーションコープ五日市
コープ五日市居宅介護支援事業所
コープ五日市ヘルパーステーション

コープ五日市
診療所



生協さえき病院

生協さえき訪問リハビリテーション
生協さえき通所リハビリテーション



■交通のご案内 電停・バス停が目の前。
JR西広島駅から徒歩約10分、広島電鉄「福島町」下車徒歩すぐ

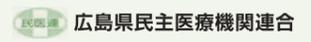
奨学金制度

広島中央保健生活協同組合の加盟する広島民医連では、地域のニーズに応える医療・福祉のプロフェッショナルを目指す医学生の方々の学生生活を援助するために、各法人からの拠出基金で奨学生制度を設けています。

規定について

コース	学 年	奨学金/月額
基 準	1年	8万円以内
	2~4年	9万円以内
	5~6年	10万円以内
特 別	全学年	15万円

※卒業後、奨学金受給期間と同じ(特別コースは1.5倍)期間を広島民医連の施設で勤務した場合に返済を免除します。



治す・救う医療とともに、 支える医療へ

初期臨床
研修医
募集案内



写真提供:広島市

厚生労働省指定 基幹型臨床研修病院



福島生協病院

見学・実習・奨学金等のお問い合わせ
福島生協病院 医局事務課
(<http://www.hch.coop/fukushima/>)

✉ ikyoku@hch.coop
〒733-0024 広島市西区福島町1丁目24-7
TEL.082-292-3171(代) FAX.082-294-4551



病院 HPは
こちら



臨床研修の基本理念

第一線の医療現場における
臨床研修をすべての
医師の成長の礎とする。

基本方針

常に医学の進歩に学び、最新・最善の医療が提供できるように研鑽する。

患者の立場に立った医療の実践を通じて、人を愛する心を育てる。

チーム医療における医師の役割を明確に認識し、チーム医療の力を発揮する。

理念

私たちは、患者さんの立場に立った無差別平等の医療を実践します。

診療の基本方針

- インフォームド・コンセント(説明と意思決定)を重視し、信頼される医療を提供します。
- 教育・研修活動を進め、医療・看護・接遇の向上につとめます。
- 地域の人々とともに、医療・福祉・介護のネットワークづくりをすすめます。
- 全職員がSDH(健康の社会的決定要因)の視点を持ち、平和で安心して住み続けられるまちづくりに取り組みます。
- 健全な病院運営のもと、全職員が生き生きと働く病院を目指します。

福島生協病院を運営する広島中央保健生活協同組合は…

地域の皆さんがそれぞれの健康とくらしの問題を持ちより、解決するための事業と運動を行う、消費生活協同組合法にもとづく自治的組織です。ともに組合員として生協を担う住民と職員の共同によって運営されます。全国各地・海外にもあります。

広島中央保健生活協同組合には現在約3万人の組合員がおり、組合員と職員で力を合わせて病院や診療所、介護事業所をつくり、ともに運営しています。

「昨日より今日が、さらに明日がより一層意欲的にいきられる」毎日を目指して、くらしと福祉と健康を豊かにする取り組みを続けています。

わたしたちは、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指しています。

差別と貧困、そして被ばくの苦しみを抱えた福島町は長年無医町として医療福祉に恵まれませんでした。「医療にかかりたい、健康に暮らしたい」という当たり前の権利が奪われていた人々は、自らの手で医療機関を作ろうと福島医療生活協同組合設立運動を起こし、1955年に福島診療所が設立され、期待の一步を踏み出しました。それが、福島生協病院の前身です。

以来、職員の熱意と組合員の参画により、日々増加する患者に応えるために建物や設備を整備し、1959年5月に福島病院を開設しました。

医療福祉はすべての国民に等しくあるべきです。その社会の実現を目指す福島生協病院の地域における存在は、深い社会的意義を持っています。



概要

■ 病床数	165床
■ 外科系病棟(一部地域包括ケア病床)	31床
地域包括ケア病棟	46床
内科病棟	46床
回復期リハビリテーション病棟	42床

■ 標榜(診療)科目

内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・糖尿病内科
呼吸器内科・外科・肛門外科・整形外科・耳鼻咽喉科
皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科

広島中央保健生活協同組合・福島生協病院の歴史

1955年 8月16日	福島診療所開設
1959年 5月17日	福島病院開設(22床)
1974年 1月21日	草津診療所開設
1974年 4月	福島生協病院(140床南棟落成)
1977年12月	草津診療所新築移転
1981年11月	福島生協病院(240床南棟5・6階落成)
1983年12月	総合病院福島生協病院
1989年10月	福島生協病院増改築(271床)
1990年 7月 1日	生協歯科ひろしま開設
1993年 3月	福島生協病院(258床)
1994年11月 2日	コープ五日市診療所開設
1995年 5月 1日	訪問看護ステーションコスモス開設
2000年 4月 1日	介護事業開始 ・訪問介護・訪問看護・福祉用具貸与・居宅介護支援
2000年10月 2日	福島生協内科クリニック開設
2005年 6月 1日	福島生協病院(165床) 生協さえき病院開設(114床)
2015年9月 1日	福島生協病院新築移転
2015年11月 4日	生協小児科ひろしま開設 病児保育を併設
2016年10月 1日	生協さえき歯科開設
2017年3月 1日	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 生協くさつ24
2018年4月 1日	訪問看護ステーションコープはつかいち
2018年10月 1日	生協くさつ夜間対応ヘルパーステーション開設
2021年3月31日	生協くさつヘルパーステーションを広島中央保健生協ヘルパーステーションと統合
2021年4月	福島生協病院にて卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定取得
2022年9月	広島中央保健生活協同組合にてISO9001取得
2022年12月1日	地域包括ケア病棟62床に病床再編

Message

病院長からのメッセージ

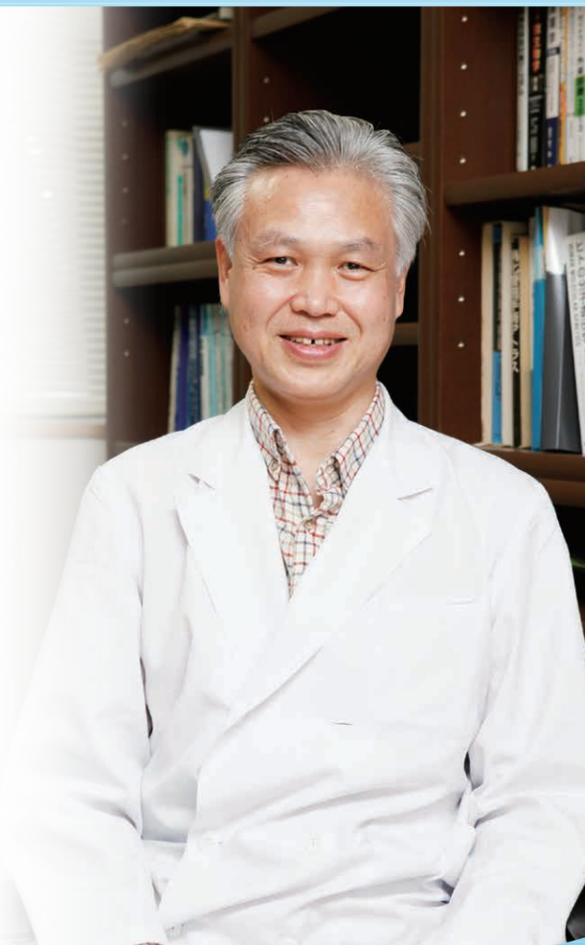
Message from Hospital Director

福島生協病院院長 (専門 外科) **北口 浩 医師** (広島大学卒)

この病院は職員と組合員・住民が知恵と力を合わせた創造物です。医療のパラダイムシフトに対応した医療活動と研修ができます。すなわち「治す・救う」医療から、それに加えて「支える」医療への転換をしようとしています。

急性期の機能を持つ中小病院では、治療を行いつつも、生活を重視するという両輪で「生活を分断しない医療」への機能強化が求められています。新病院は健診・診断・治療・手術・リハビリから在宅まで、地域の医療要求に力強く答える医療を行っています。そんな豊富な現場の活動の蓄積の上に、総合診療科の研修も充実しています。大病院の高度な専門的な医療ではなく、ありふれた病気への適正な医療、そして地域で生活を支え続ける医療を行っています。そこで暮らす人々と共に医師としての人生を送っていくという充実感があります。

当院で勤務したのち開業し、活躍している先生も多数います。科の垣根もなく、学閥もない、自由な医局です。魅力は満載です。お待ちしております。



研修プログラム責任者からのメッセージ

Message from Program Director

内科部長 (専門 循環器内科) **高岡 克寿 医師** (広島大学卒)

当院は急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟という幅広いニーズに応える病床を有しており、病棟医療と外来医療さらには訪問診療も行っています。当院を中心とする圏域で地域医療の要を担っています。そこでの臨床研修は、患者様をより身近に感じることが出来るものとなっています。外来は一般外来と専門外来があり、患者層は軽症から重症まで幅広く対応しています。当院の医局は各科の垣根が低く、相談しやすいものとなっています。

当院ではメンター制度を導入しており、指導医や上級医などの研修上のラインや医局の人事管理とは異なる体制で、研修医の育成に関与できるシステムが整っています。オフィシャルに、プライベートに、キャリアアップ等の抱える問題に対処し研修医を支えたいと考えています。



経験豊富な指導医陣



指導医からのメッセージ



あらゆる病気に対応できる力を身に付けることができます

内科科長 (専門 消化器内科) **飯田 年啓 医師** (鳥取大学卒)

当院は、広島市西区で唯一の総合病院の為、様々な疾患の患者様が数多く来院します。また近隣に老人保健施設が多くあり、比較的高齢の紹介患者様が多いのも特徴です。それ故に複数の疾患を持っている高齢者を治療・管理しているうち自然とあらゆる病気に対応できるジェネラリストとしての底力が早く身に付けられます。消化器内科研修の特徴としては、比較的早いうちから胃カメラを手始めに、大腸内視鏡、胆膵内視鏡などを上級医指導医の監視下でどんどん経験してもらっています。

医学生へのメッセージ

病院も周辺地域の人々も皆さんが来られることを心待ちにしています。一緒に頑張ってみませんか。



指導医からのメッセージ



やりがいがあります！一緒に勉強していきましょう。

整形外科部長 (専門 整形外科) **杉本 清 医師** (広島大学卒)

整形外科の研修期間は、通常1ヶ月間ですが、2ヶ月行った研修医の先生も複数おられます。手術室・病棟を研修の中心の場とし、一緒に診断や治療方法について、考え・実践してまいります。手術室では大いに活躍してください。手術症例は、骨接合術、関節鏡、人工関節、腰椎などですが、リハビリテーションにも力を入れています。また、退院に向けて、何が必要なのか足りていないのかも重要な話題であり、多くのスタッフとともに一緒に考えていくことができます。

医学生へのメッセージ

整形外科は、運動器の痛みと機能を診て、そして守っていく科です。遣り甲斐があります。一緒に勉強していきましょう。楽しいですよ。

コメディカルスタッフからのメッセージ



薬剤部 安全な薬物治療がおこなわれるよう、医薬品の適正量や最適な剤型などを医師に提案したり相談しています。また、診療現場にも薬の専門家として薬剤師がチーム医療に加わっていますので、一緒に学習を深めましょう。



看護部 わたしたちは患者様の立場に立った看護を実践したいと頑張っています。みんなで一緒に協働して、地域の人々から選ばれる病院を目指しましょう。



医療相談室 MSW(医療ソーシャルワーカー)が相談業務を行なっています。患者さまの不安をキャッチした医師や看護師などから依頼を受けてご相談を受けることが多く、ひとりひとりの患者様に対し、多職種連携ができていくことも当院の魅力の一つです。



検査科 検体検査、生理検査をおこなっています。みなさんがイメージする医師へと成長されるお手伝いがしたいと思っています。頼りになる検査技士がお待ちしております。

病院各階のご案内

1階 総合受付・会計 外来診療
 内科・整形外科外来を中心に、放射線科・医療相談室・地域医療連携室を設えたフロアです。専門外来はスペースを広く取り、他科と連携した医療を提供します。

外 来
 ● 内科 ● 整形外科
 放射線科
 医療相談室 地域医療連携室

2階 健診センター
 心電図や腹部超音波検査等を行う生理検査や内視鏡検査を同フロアで行うことができます。また、健診には色々な種類があり、患者様のご希望に沿う内容を提案しています。

リハビリテーション科
 患者様の状態に合わせた適切なリハビリテーションを行い、生活の質の向上や再発防止に向けての取り組みを行います。脳血管疾患等リハビリテーション、運動器リハビリテーション、呼吸器リハビリテーション、心大血管疾患リハビリテーションなどを行っています。

外 来
 ● 外科 ● 耳鼻咽喉科 ● 皮膚科 ● 泌尿器科
 リハビリテーション科
 健診センター 検査科
 内視鏡 売店



3階 外科系一般病棟(一部地域包括ケア病床)
 主に外科・整形外科の急性期治療を行う病棟です。

手術室 外科系病棟(15床)
 地域包括ケア病床(16床)

4階 地域包括ケア病棟
 急性期治療終了後、すぐにご自宅等へ帰ることに不安のある方に対して、在宅復帰に向けての支援を行う病棟です。

地域包括ケア病棟(46床)



5階 内科系一般病棟
 主に内科の患者様の急性期治療を行う病棟です。

内科病棟(46床)

6階 回復期リハビリテーション病棟
 多くの医療専門家がチームを組み、リハビリテーションを集中的に行なう病棟です。一日の生活行動の全てをリハビリテーションとしてとらえ、様々な行動や活動を実際に行い、日常生活をうまく送れるように訓練を行います。
 ※回復期とは脳血管障害や骨折の手術など急性期の治療を受けて、病状が安定しはじめた1~2ヶ月の状態をいいます。

回復期リハビリテーション病棟(42床)



6階病棟デイルーム

7階 薬剤部 栄養科

8階 在宅診療部・管理諸室 安心して在宅でくらすことができるように訪問診療を行っています。

在宅診療部 医局 研修医室

福島生協病院の地域医療

当院の在宅医療は、今日のような「訪問診療」が制度化されるずっと以前から、旺盛に取り組んできました。1955年(昭和30年)に福島診療所を開設し、以来通院困難な患者さんの自宅に向き、地域住民の医療を支えてきました。その後病院へ機能を変え、救急対応が可能となってからも、高齢者や障害を抱える患者さんの在宅医療を継続して取り組んできました。こうした長年の在宅医療の実績は地域医療を十分に提供できる研修の場となると思います。在宅診療部を中心に、現在は5人の医師による8単位の訪問診療を行い、毎月80件前後の訪問をしています。

“地域医療研修”の特徴

- ① 福島生協病院の在宅診療部から患者宅へ定期的な訪問診療を行っています。担当主治医に同行し一緒に訪問診療を経験します。
- ② 関連病院としてケアミックス型の生協さえき病院があります。ここでも訪問診療を経験することができます。また療養病棟では、高齢者医療を担っており、高齢者の地域医療を研修することができます。
- ③ 臨床研修協力施設として生協さえき病院、コープ草津診療所、コープ五日市診療所、津田診療所、あすなる診療所、城北診療所があります。診療所医療を通して、患者さんに密着した地域医療を研修することができます。訪問診療だけでなく、認知症の高齢者のデイケアなども経験することができます。



在宅診療部部長(専門 消化器内科)
 保手浜 和恵 医師 (川崎医科大学卒)

訪問診療実習のご案内

患者様の自宅に赴いて行う計画的な病状管理です。生活背景にも目を向ける医療を体験してみませんか。

- Point①** 医師に同行して患者様の自宅または施設での診療の様子を見学します。
Point② MSWから話を聴き、患者様が在宅療養に至るまでの流れや課題を事例から学びます。

訪問診療の週間スケジュール(予定は変わることがあります。)

	月	火	水	木	金
午前	○		○	○	○
午後	○		○	○	○



将来の医師像を描く病院見学・実習

院内でも、さまざまな見学・実習を行っています。希望に応じたスケジュールが組めます。



その他、上部内視鏡検査・手術見学・リハビリテーション科実習・胸部レントゲン読影レクチャー等を行うことができます。

見学・実習のお申込み・お問い合わせは
 福島生協病院 実習 
http://www.hch.coop/medical_st/

対象	医学科生(全学年)
期間	実習は平日のみ。申し込みは年間を通して受け付けています。

プログラムの特徴とスケジュール

中小病院ならではの 指導医・上級医によるマンツーマンの指導

基本的臨床手技を経験する機会も多く、確実な習得を支援します。



多職種職員や地域組合員とともに学ぶ研修

多職種合同学習会があり、職種を超えた仲間づくりとともに他職種への理解とチーム医療を学びます。生協組合員の班会でBLSや生活習慣病予防などの講師を担い、地域住民への公衆衛生を学びます。

定期的な学びの機会

週に1度、内科医師を中心とした『医師カンファレンス』を行っています。日頃の診療で興味深かった症例や教訓になった症例を持ち寄り、診療科の垣根を越えた学習を行います。また、指導医と研修医がマンツーマンで行う『研修医カンファレンス』も行っており、こちらでは研修医自身の疑問点を集中的に解決できます。これらの機会でも広く深く学習することができます。



時間的、精神的なゆとりある研修 時間的、精神的なゆとりのある研修 就業後の時間を活用して、じっくり自分のペースで学ぶことができます。

1年目 年間スケジュールのモデルケースです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入研修		循環器内科			呼吸器内科			救急	整形外科	精神科	代謝科 内科

2年目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外科	地域医療	脳神経 外科	小児科	産婦人科		消化器内科			選択研修		

全国組織のスケールメリットを活かした研修医同士の交流

日本医療福祉生協連や全日本民医連に加盟する臨床研修病院の研修医と交流の場があります。特に中四国の研修医とは、合同カンファレンスやベッドサイドティーチングを定例開催しています。同じ広島市内の医療生協である広島共立病院とは、毎月1回研修の進捗状況について交流を行っています。



1日の流れ



初期研修医の声

Message

佐々木 萌花 医師 (近畿大学卒)

マンツーマン指導で確実なスキルアップを目指せます

私は研修を始める際、いきなり臨床に出ることへの不安が強かったため、ゆっくりとしたペースで研修が始まること(導入研修)、自分のペースで研修を行えること、研修医が少人数のため指導医によるマンツーマンの指導があることから当院を選びました。

入職してから実際に自分の技量や希望に合わせて研修内容やスケジュールを調整してもらうことができます。また、マンツーマンが基本のため、指導医に質問や相談をしやすい環境にあります。また振り返りや学習の時間もしっかり持てるため、一つ一つの症例で確実なスキルアップを実感できると思います。

コメディカルと関わる機会も多いですが、病院全体で研修医を支えてくれるため困った時に優しく手を貸していただけです。

地域に根ざした一般内科中心の病院のため研修プログラム上、外部病院に行くことも多いですが、他病院の研修医と繋がりを持つことができ、新しい刺激を得ることができます。

医学生へのメッセージ

見学に来ていただき、実際の研修の姿を見ていただけたらと思います。いつでもお待ちしております。

〈佐々木研修医の研修スケジュール〉

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	導入研修		循環器内科			呼吸器内科			救急	整形外科	精神科	代謝内科
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	外科	地域医療	脳神経外科	小児科	産婦人科		消化器内科			選択		

初期研修医の声

Message

国吉 学 医師 (山口大学卒)

自分に合ったワークライフバランスで研修できます

私は研修前から結婚していたので、病院選びで重視していたのはcommon diseaseがしっかり学べて、家庭時間が確保でき、男性の育児休暇に理解があるという点でした。

当院の良い点は、よくある内科疾患がたくさん経験できるだけでなく、2年目からは診察から検査、入院、その後の病棟管理まで研修医主体で行える点です。指導医のサポートも常にあり、他の医師にも気軽に相談できるので安心して取り組んでいます。

Dutyは比較的少ないので、自由時間が多いのも良い点だと思います。就業時間内に勉強やレポート作成を終わらせることも可能なので、私は毎日定時帰宅して家庭時間を大切にできています。

男性の育休取得も快諾で、産後1か月間育休を取りました。事前に出産予定日を踏まえて研修プログラムを組んでいただき、出産に立ち会うこともできました。家族も含めてサポートしてくださる雰囲気病院全体にあり、病院併設の保育園や小児科クリニック、病後児保育もあるので出産後のサポート体制も安心でした。出産・育児に関わりたい方にとっては非常に良い職場環境だと感じています。

医学生へのメッセージ

気軽に見学に来ていただいて、当院の雰囲気を体感いただけたらと思います。いつでもお待ちしております。

〈国吉研修医の研修スケジュール〉

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	導入研修		循環器内科			外科		育休		消化器内科		救急
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	代謝内科	地域医療	整形外科	脳神経外科	精神科	小児科	産婦人科			選択		

先輩研修生の声

「時間的、精神的なゆとりある研修」ができる

私はリハビリ領域に関心がありましたので、ベースのプログラムを経験しつつ、希望を伝えて整形外科研修を延長していただきました。地域医療研修では診療所を経験するなど、院外での研修も行いました。現在は連合会グループの病院でリハビリ分野を専門に後期研修を行っています。

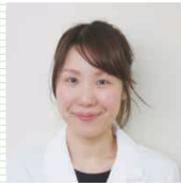
男性医師K先生 2015年初期臨床研修修了 岐阜大学卒



娘を育てながら安心して研修に取り組むことができた

私自身、3歳の娘を育てながらの研修でしたが、ここでなければ研修を続けることは難しかったと思います。医師をはじめ、コメディカルや職員の方々の優しい心遣いがあり、研修生活が成り立っていました。法人内に保育園があり、親身になって子育てをしてくださる保育士の方々がおられるので、安心して研修に取り組むことができました。

女性医師M先生 2014年初期臨床研修修了 宮崎大学卒



研修終了後の進路

後期研修では、基幹・関連プログラムを含め「内科医」「総合診療医」「家庭医」の取得が可能です。

福島生協病院には、日本プライマリ・ケア連合学会認定の指導医・認定医が多数在籍しています。

関連施設として登録

- 内科専門研修プログラム [基幹: 広島大学病院・広島市民病院・県立広島病院・岡山協立病院・水島協同病院・鳥取生協病院]
- 総合診療専門研修プログラム [基幹: 愛媛生協病院]

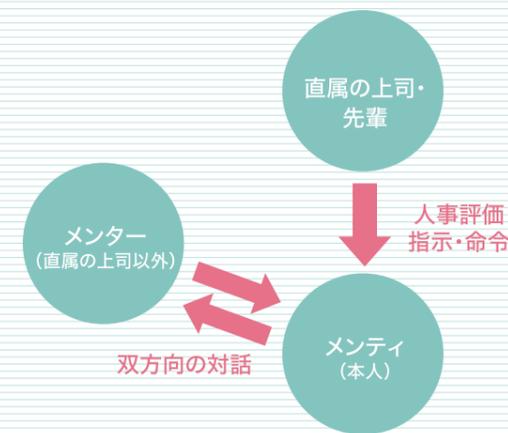
基幹施設として登録

- 日本プライマリケア連合学会認定新家庭医療専門研修プログラム(総合診療専門医取得後の研修です。)

※循環器内科・消化器内科・整形外科など、各人のニーズに合わせた後期研修も可能です。

※当院に継続して勤務する意思のある方には、当院に在籍しながら、さらに高度な専門技術を修練するための他医療機関での研修生活をバックアップします。

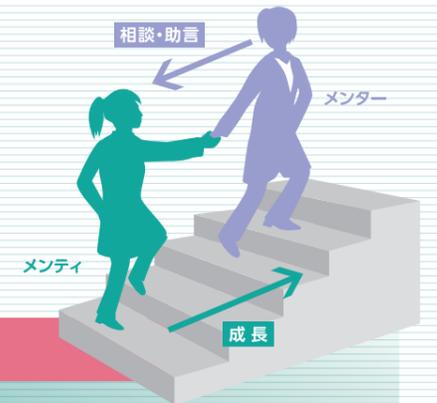
メンター制度が支えます



メンター制度とは、豊富な知識と経験を有した先輩職員(メンター)が、後輩職員(メンティ)に対して行う個別支援活動です。職場内での悩みや私生活にまつわる悩みの解決を手助けし、個人の成長をサポートする役割を果たします。

メンティは、少し先を歩いている先輩から助言や指導を受けたり悩みを話したりすることで、精神的にも支えられます。

メンターの存在が、目指す医師像の実現を後押しします。



初期臨床研修の2年間で充実した時間にしてほしいから

福島生協病院のメンター制度

- メンターは、本人の希望を確認し経験豊かな先輩をマッチングします。
- マッチングが合わないときは、指導医と相談し別のメンターを紹介します。
- メンタリングは期間を定めて実施します。
- メンタリングで得た個人情報、双方ともに守秘義務を厳守します。

※メンター制度は必須ではありません。本人の希望もしくは指導医・上級医の助言により適用します。

福島生協病院は初期臨床研修医を常勤医師として採用します。

労災保険、雇用保険、健康保健、厚生年金に加入、常勤職員の待遇で応援します。

隣接した認可保育園や育児休暇制度で子育ても安心。

ひまわり保育園という法人内認可保育園を隣接。土日保育もあるので安心して勤務ができます。法人内には小児科クリニックや病後児保育もあり、働くママ・パパに安心の環境です。



採用年から年間休日110日以上。

有給休暇、4週6休(土曜日は半日勤務が月2回)、リフレッシュ休暇、お盆休み、年末年始、公休年1日、生理休暇、慶弔による特別有給休暇、育児、介護休暇があります。

市内中心部の立地。繁華街へのアクセスが快適。

路面電車が走る平和大通りは病院の目の前。市内バス、JRなどの公共交通機関のアクセスもスムーズで、繁華街や市内中心部へは電車やバスの乗り換えなしで行けます。通勤にもとても便利で、アフターファイブや休日のリフレッシュには最適です。



医療費や食費補助、制服の支給など充実の福利厚生。

<充実の福利厚生>

- 借上げ寮完備 ●住宅手当支給
- 通勤費支給や駐車場完備 ●白衣購入費補助
- 研修やセミナー参加促進 ●副直研修時の研修手当
- 医師賠償責任保険加入 ●図書購入費補助 ●昼食代一部補助
- 当院他院を問わない医療費補助(互助会費財政で補助割合は変動します)
- 医師会費補助 ●医局会主催年2回の懇親会開催
- スポーツ観戦企画やイベント開催

研修医Q&A

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <p>Q1 研修環境は、どの程度整備されていますか？</p> | > | A | <p>研修医室に専用の電子カルテ、一人一台の机を用意しています。また、医局と同フロアの図書室でオンライン文献検索ができます。</p> |
| <p>Q2 勤務している医師の出身大学はどこですか？</p> | > | A | <p>鳥取大学、島根大学、広島大学、鹿児島大学、京都大学、香川大学、愛媛大学、愛知医科大学、川崎医科大学、帝京大学、大阪市立大学、九州大学、大分大学、山口大学、東京女子医科大学、高知大学…など。広島県外の大学出身者が多い状況です。</p> |
| <p>Q3 初期研修中に当直はありますか？</p> | > | A | <p>1年目は指導医と一緒に月2-3回程度。2年目後半から個々の修得状況に応じて当直研修が始まります。当直時には上級医が院内または自宅に待機し、一緒に対応します。</p> |
| <p>Q4 指導医の体制は？</p> | > | A | <p>基本的には研修医同士が、同月同科の研修とならないよう調整しますので、指導医と1対1で指導を受けることができます。</p> |
| <p>Q5 初期臨床研修では専門を決めていた方がよいですか？</p> | > | A | <p>決めなくても大丈夫です。「経験すべき疾患」など国の定める研修基準は多岐にわたる為、特定の診療科だけに絞ることはできませんが、3年目以降を見据えて関心の高い専門科の研修期間をのばすことはできます。過去には初期の2年間で専門を決めず、3年目以降にゆっくりと進路を決められた先生もいます。</p> |
| <p>Q6 初期研修でのプログラムはどのように決めていくのですか？</p> | > | A | <p>国の定める必修科目の研修期間を押さえたプログラムを基に、研修医が将来を見据えて関心の高い専門科の期間を延長するなど、希望を取り入れて作成します。協力型病院での研修を含めて、獲得レベルに応じてフレキシブルに対応します。</p> |
| <p>Q7 育児中で子どもとの時間も大事。それでも研修は可能ですか？</p> | > | A | <p>大丈夫。当院には職員用の保育施設があります。法人内には病後児保育も併設しています。過去には、指導医と相談の上で育児期間の当直研修免除といった例もあります。</p> |

